

## KRK R&S テスター（プリントサーフ試験機）

紙の印刷適性にとって最も重要な特性の1つとしての平滑性は、従来よりベック、王研式、シェフィールド、ベントセン、ガーレーSPS等、空気漏洩法又は空気の内部圧力変化により測定しています。しかしこれらの物性値で用紙の印刷適性を評価するには、難しいところもありました。

1965年英国のJohn Parker M.A.によって開発されたParker Print-Surf (P.P.S.) は、特にグラビア印刷に於ける用紙適性の知見を得る手法として多くの研究者により評価され、1985年英国のBS規格となり、更に1992年ISO規格にも採用されています。

その原理は極薄の測定リングを一定圧で試料面に押し付け、リングの内側より安定した低圧空気を送ります。空気は測定リングと紙が接触している、その端面から外に流れます。この紙表面の粗さに応じて変化する空気流量を測定して紙の表面粗さとして換算し、 $\mu\text{m}$ 単位で表示します。

測定方式は流量計形を採用しておりダミーヘッドは不要です。検定用標準板も付属しています。

### <プリントサーフ試験機法の特徴>

実用印刷機の条件をシミュレート

3段階の圧力設定可能 490、980、1960kPa

紙は印刷版と同じスケール上で試験されるため、他のエアリーク式の試験機と比較してかなり相関が高い

- 測定項目：平滑性、圧縮性、透気性（オプション）
- 測定範囲：平滑度 0.6~6.0 $\mu\text{m}$   
透気度 4~1800秒
- 測定時間：平滑度 標準4秒（3~60秒設定可能）  
透気度 10秒
- 測定リング巾：51 $\mu\text{m}$
- 測定リング中心径：31.2mm
- エアギャップ巾：51 $\mu\text{m}$
- 測定空気圧：平滑度 19.6kPa  
透気度 1.23kPa
- クランプ圧：490、980、1960kPa(5、10、20 kgf/cm<sup>2</sup>)
- バックリング：ソフト及びハード
- 計算項目：最大、最小、平均、標準偏差、変異係数、比圧縮
- オプション：透気度計測用ヘッド
- プリンタ：内蔵
- データ出力：RS-232C方式
- 参考規格：JIS P-8151、ISO 8791-4:1992  
BS 6563:1985、TAPPI T555 om-99
- 電源：100/110V 50/60Hz 2A
- エア源：0.5MPa
- 外形寸法：550×510×325mm
- 重量：39kg



No. 2039